

令和6年 インターンシップ

県内企業を対象に、令和6年2月から11月までインターンシップが行われ、4校86名の生徒が実際に職場体験をしました。今回はその中から8名の感想文を紹介します。

山口県立岩国工業高等学校 都市工学科1年 参加生徒40名

衣笠 夢斗さん

勝井建設株



1日目は、勝井建設さんの会社説明と安全教育についての話を聞き、午後からは実習現場で丁張作業をしました。途中で角度が違つたりしたこともありました。が、丁寧に教えてくださったので、少しづつ覚えることができました。また、自分がかけた丁張が実際に使われると聞き、完成が楽しみになりました。

2日目は、黒磯テラス現場で「杭ナビ」を使った測量を行い、普段の授業で行つてゐる方法より、より簡単に測量ができることに驚きました。午後は和木町の吸水井補強工事現場に移動し、施工管理の重要性を学びました。現場の所長は業者の方々とのコミュニケーションを大切にしているといふ話が勉強になりました。

最終日は、設計ミスを修正する作業の見学や、路肩コンクリートの丁張かけを行いました。初日よりも作業効率が上がつたことを実感しました。また、コンクリートを切る作業や生コンのスランプ試験も見学し、現場の大変さや重要性を学びました。中々見ることができない今回の貴重な体験を、今後に生かしていきたいと思いました。

松本 和樹さん

株ガンシン



僕は、ガンシンといふ企業は主に建設系の仕事をしていると思つていまつたが、初日の見学で、海や土木の工事が多いことがわかりました。また、仕事の多くには資格が必要で、クレーンを使う作業や現場監督をしたい場合、資格を取らなければできないことも学びました。

2日目には見学と実習を行い、実習では水準測量をしました。水準測量では、みんなで見る機械がたくさんありました。仮設工事は地図には残らない仕事ですが、現場の体验をさせてもらい、クーラーのついた縦席で夏も冬も快適だという話を聞いて、樂に作業ができるんだなと思いました。

山口県立柳井商工高等学校 建築・電子科 参加生徒13名

木村 凌大さん

井森工業株



3日間を通して、現場監督として施工管理を行うことの大変さを知りました。施工管理には、安全管理、原価管理、品質管理、工程管理があり、どれか一つでも疎かにしてしまうと、建築物の完成度、作業の効率、正確さなど全てに影響が及び、計画通りに完成させることができないと分かりました。安全の面では、作業をする方自身が、注意深く安全に作業することが必要と思いました。だからこそ、現場監督が見回りをすることや危険予測を事前にして掲示すること、安全管理を整備することなどがとても大事に分かりました。

また、職人の方が質問をされたときに、すぐに答えられていた姿を見て、図面を全て記憶されているのだと分かりました。一面を見返して把握して、いつ聞かれても説明したり要望したりできるようになりますが重要なことを語っていました。仕事に限らず、自分が行うことをして、自分もこのような能力が重要」と言わっていました。

自分が行うことをしっかり把握し、それを人に伝えられる力はとても大切だと思うので、自分もこのような能力を伸ばしていきたいと思います。

山口県立山口農業高等学校 環境科学科 参加生徒17名

松井 淳良さん

熊野舗道工業株



1日目は、本社を見学後、現場でオーバーレイ工とアスファルト舗装工事を見学しました。見学中は様々な重機の説明や事を見学しました。見学が終わることで、オーバーレイ工での役割など詳しく説明していただき、安全な環境を整備することなどがとても大事に分かりました。

また、職人の方が質問をされたときに、すぐに答えられていた姿を見て、図面を全て記憶されているのだと分かりました。一面を見返して把握して、いつ聞かれても説明したり要望したりできるようになりますが重要なことを語っていました。仕事に限らず、自分が行うことをして、自分もこのような能力が重要」と言わっていました。

2日目はセメント工場とアスファルトプラントを見学し、作業工程や製法、材料について教わりました。知識がない中での見学だったので、目に映るもの全てが新鮮でとても楽しめました。私は今まで工事の作業内容ばかり習っていたので、積算を習つた時といい自分はまだまだ知識が浅いなど感じさせられました。初日見学したオーバーレイ工も見学しましたが、作業の進捗具合がとても速く驚かされました。

3日目は採石場の見学と動画視聴をさせていただきました。採石場ではアスファルトの材料を作つているとのことで、プラント見学で得た知識と通ずるものが多く、より一層アスファルトの知識が得られました。私は将来、建設業の仕事を就くことを考えており、今回の経験も今後に生かしていきたいです。

山口県立田布施農工高等学校 都市緑地科 参加生徒16名

二上 真帆さん

井森工業株



1日目は、上関町「令和6年度国道188号神東地区防災工事」を見学しました。この工事は、排水管を設置するために行つて型枠にコンクリートを流し込んでいました。シェーケブロック(テンラポット)を作つて、バックホウや生コン車などを使って型枠にコンクリートを流し込んでいました。シェーケブロックがこんなにも時間をかけて作られていることに少し驚きました。2日目は、「令和5年度主要県道柳井上関線道路改良(総合交付金・特・広域)工事第5工区」の現場でドローン体験をしたり、トンボ型の丁張りを設置したりしました。現場で使用されていた機械は、バックホウ、振動ローラー、振動機で様々な機械の使い方などを知ることができました。午後からは、ドローン体験、光波の据え付け練習をしました。ドローン体験は学校にはない大型のドローンで、風がとても吹いていたにもかかわらず、揺れることがなく安定していて、大きさが違うだけでもこんなにも安定するのだと感動しました。

2日目を通して、より土木に興味をもつことができました。また、最後に吉崎さんが言われていたように、土木の仕事は、経験を積み重ねることが大切だと思いました。

令和6年 インターンシップ

県内企業を対象に、令和6年2月から11月までインターンシップが行われ、4校86名の生徒が実際に職場体験をしました。今回はその中から8名の感想文を紹介します。

令和6年インターンシップ 実施企業のべ59社(参加生徒数86名)

令和6年2月14日～16日
岩国工業高等学校 令和5年度現場実習

(23社40名)
長畠建設工業株
株ボスコ
日栄興業株
勝井建設株
株ガンシン
株太昭組
株カシワバラ・コーポレーション
株藤川興業所
株ミヤベ
株森野組
株櫻迫
大海建設工業株
渡邊工業有
株ナルキ
株藤村組
ユタカ工業株
株中村組
株田村土木
㈲中斗建設
株エムエスシー
株坂本建設コンサルタント
株錦測量事務所
㈲谷光測量事務所

令和6年8月26日～28日
柳井商工高等学校 現場実習
(9社 13名)
井森工業株
ユタカ工業株
株森野組
洋林建設㈱
時盛建設㈱
㈱笹戸建築事務所
㈱異設計コンサルタント
㈱ますもと設計事務所
㈱西部設計

令和6年8月26日～28日
山口農業高等学校 夏期現場実習
(14社 17名)
山口建設㈱
石山建設㈱
㈱技工団
シマダ㈱
㈱宗像建設
五十鈴工業㈱
熊野舗道工業㈱
㈱倉産業㈱
山陽建設工業㈱
成長建設㈱
藤本工業㈱
明和技術コンサルタント㈱
㈱リクチコンサルタント
サンセンコンサルタント㈱

令和6年11月5日～7日
田布施農工高等学校 現場実習
(13社 16名)
井森工業㈱
日立建設㈱柳井支店
㈱大池組
トヨタ電気㈱
兼本建設㈱
ユタカ工業㈱
時盛建設㈱
㈱川畑建設
国益建設㈱
キハラ建設㈱
㈱異設計コンサルタント
㈲泉土木コンサルタント
㈱ソイル・プレーン